

ご復活おめでとうございます



国際カリタス総裁（オスカル・ロドリゲス・マラディアガ枢機卿）の復活祭メッセージ

みなさん、私たちは人生の中で、砂漠や、故郷を遠く離れた場所で道に迷ってしまったかのような時があります。恐怖に満ち、誰からも愛されず、この苦しみは終わらないのではないかと感じてしまう時です。

周りを見回してみると、文字通り、砂漠をさまよっている人々がいます。シリアからの難民、家を失い、武装グループや民兵の脅威にさらされている中央アフリカの人々、メキシコと米国の間の不毛の地を横断しようとしている絶望に満ちた移民たち、その他にもたくさんいます。

希望は、私たちが旅を続けられるようにしてくれるものの一つです。誰もが、明日への光を見出すために、荒れ野から抜け出させてくれるものの一つです。希望を失ってははいけません。教皇フランシスコもおっしゃいました。「希望を失わないようにしましょう！」と。

長い砂漠の中の時間、つまり四旬節の後、私たちは復活祭を迎えます。復活は死からの勝利です。苦しみからのキリストの勝利です。

友のために自分の命を捨てることより大きな愛はありません（ヨハネ 15：13）。私たちは新しい命というすばらしい約束をいただいています。キリストを信じ、その歩みに従うには自分を鼓舞する必要があります。兄弟姉妹を苦しめる死や苦痛のことを聞いたならば、無関心と闘わなければなりません。

周りの人々の苦しみに心を開くことによって、私たちは復活の喜びを受けることができます。痛み、苦しみ、不完全さを備えた人間に心を開き、カリタスの生きた模範になりましょう。

緊急支援報告

フィリピン台風「ハイエン」

カリタスは支援活動を緊急救援から中長期的な支援へと移行しつつあります。カリタスフィリピンは発災直後から活動し始めた団体の一つで、世界中のカリタスからの援助を受け、これまで27万5千人に食料、日用品、衛生用品、シェルター（防水シートと設置用の部品）、漁船や農具、そして極度の困窮世帯へ生活費の支援を行いました。

今後は復興支援として、最も被害のひどかった地域で10万人を対象に、強力な台風にも堪えうる住宅の再建や安全な水の提供、生計手段の回復支援を行います。



券と引き換えに衛生用品セットを受け取る女性。バケツの中にはタオルやボディーソープ、洗濯石けんなどが入っている

反貧困キャンペーン

国際カリタスでは「私たちは一つの家族、全ての人に食糧を」と題した反貧困キャンペーンを展開中です。

カリタスジャパンは、3月21日に東京（講師：菊地功司教）、4月5日に大阪（講師：幸田和生司教）でキャンペーンの一環として四旬節黙想会を行いました。東京ではニコラ・バレ修道院を会場に61名の方々に、大阪では大阪大司教区社会活動センター・シナピスのご協力を得て122名の方々にご参加いただき、「来年度も是非このような黙想会を開いてほしい」との声も頂戴しています。これからもこのような機会を通して皆様とつながっていきたく考えています。カリタスジャパンも各地で勉強会などのイベントを随時企画していきます。

キャンペーンの全容や今後の予定については、6月に発行されるニュースレターで詳しくご紹介します。どうぞ一読下さい。

啓発部会

啓発部会では、反貧困キャンペーンの一環として、以下の公開勉強会を予定しています。どなたでもご参加いただけます。申込は事務局まで。

日時：2014年7月21日（月・休）13:00～17:00
場所：聖イグナチオ教会ヨセフホール（東京・四谷）
テーマ：「日本の貧困について（仮）」
講師：結城康博さん（淑徳大学教授）



反貧困キャンペーンロゴ

2014年4月